

2020年7月14日

日本銀行金融市場局

国債補完供給の2020年度対象先公募（定例選定）について

1. はじめに

- 日本銀行では、次のスケジュールで、補完供給を目的として行う国債の買戻条件付売却（以下「国債補完供給」といいます。）の対象先を公募し、現在の対象先を見直すこととしました（以下「定例選定」といいます。）^(注)。

(注) 国債補完供給の取引方法等については、日本銀行ホームページ (<https://www.boj.or.jp/>) に掲載している次の資料をご覧ください。

- ・「国債補完供給の取引概要」
- ・「金融市場調節取引におけるオファー停止、対象先除外等の措置について」

▼公募スケジュール

公募開始日	2020年7月14日
公募締切日	2020年9月3日午後3時
選定結果の公表	2020年10月中旬以降の予定
選定先との取引	選定結果の公表後所要の準備が整い次第開始

- 本日現在対象先（既存先）であって、本年度も対象先となることを希望する先については、改めて応募して頂く必要はありません。本年度は対象先となることを希望しない場合には、2020年8月17日午後3時までに、金融機関等名、部署名、担当者の氏名、電話番号および電子メールアドレスを記載のうえ、その旨を後掲の照会先宛てに電子メールによりご連絡下さい。電子メールのタイトルは「金融市場調節取引の資格抹消の件（金融機関等名）」として下さい。

—— 既存先であって、上記の電子メールによる連絡を行わなかった先については、応募があったものとみなし、2. のとおり選定を行います。

2. 対象先の選定

- 対象先は、「国債補完供給の対象先定例選定基準・手続」（別紙）に基づき選定します。ただし、現段階では予見できない事情のために、別紙記載の基準等を適用することが不相当と判断される場合には、当該予見できない事情をも勘案して選定を行うこと、または選定された対象先の見直し等を行うことが極く例外的にあります。

3. その他

- 国債補完供給の対象先選定は、定例選定のほかにも随時行っていますが、定例選定中の2020年8月の第9営業日(8月14日)から定例選定結果の公表日までの間は、随時選定を停止します(8月の第8営業日(8月13日)までは随時選定を受け付けます。)。随時選定の応募を希望される場合には、予め下記の照会先にご相談下さい。

—— 米ドル資金供給オペにおける担保の供給を目的として行う国債の買戻条件付売却の利用を目的として、米ドル資金供給オペと併せて、国債補完供給の対象先となることを希望する場合には、上記の期間であっても、随時選定を受け付けます(米ドル資金供給オペの対象先が、国債補完供給の対象先となることを希望する場合も同様とします)。

以 上

<照会先>

日本銀行 金融市場局

市場調節課 オペレーション企画グループ

井 手 (03-3277-1277)

小坂田 (03-3277-1272)

E-mail : post.fmd26@boj.or.jp

国債補完供給の対象先定例選定基準・手続

1. 対象先としての役割

- 国債補完供給を機動的・効率的に遂行する観点から、対象先には以下の役割を遵守することを求めます。
 - (1) 正確かつ迅速に事務を処理すること
 - (2) 金融政策遂行に有益な市場情報または分析を提供すること
- 対象先が、上記の役割に著しく背馳すると認められる場合その他の日本銀行が対象先との間で行う国債補完供給の適切な運用を確保する上で支障が生じると認められる場合には、当該先に対して理由を示したうえで、オファーの見送り、あるいは対象先からの除外といった措置を採ることがあります。

2. 対象先としての必須基準

- 対象先は、国債売買オペの対象先または国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの対象先である必要があります。
- 対象先の選定後、対象先等（対象先および対象先として選定された先であって所要の約定を未締結の先をいいます。以下同じです。）に合併その他の事由が生じた場合において、日本銀行が必要と認めるときは、当該対象先等から自己資本比率、その算出根拠資料その他の資料の提出を求めることがあります。

また、本日付で別途公表しました「国債売買オペの対象先定例選定基準・手続」（「国債売買オペの2020年度対象先公募（定例選定）について」別紙）3. に掲げる基準、または「国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの対象先定例選定基準・手続」（「国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの2020年度対象先公募（定例選定）について」別紙）3. に掲げる基準に鑑み必要と認められる場合には、対象先等から除外すること等があります。

3. 応募

(1) 応募の方法

- 新規先（公募開始日現在の対象先でない先をいいます。以下同じです。）のうち、対象先となることを希望する先は、別添の申請書を、2020年9月3日午後3時までに、日本銀行金融市場局市場調節課オペレーション企画グループ（本店新館4F）に提出して下さい。

—— 申請書については、一金融機関一枚の申請書をご提出頂きます。複数のオペの対象先となることを希望する先で、オペ毎に担当部署が異なる場合には、各担当部署でご相談のうえ、ご対応下さい。

—— 国債補完供給に関する決済を他の金融機関に委託することを希望する場合には、本日付の「国債系オペにおける決済代行者の2020年度定例承認について」をご参照のうえ、決済代行者の承認のための申出等を別途行って下さい。

- 既存先（公募開始日現在の対象先をいいます。以下同じです。）は、本年度も対象先となることを希望する場合には、改めて応募して頂く必要はありませんので、申請書の提出は不要です。

本年度は対象先となることを希望しない場合には、2020年8月17日午後3時までに、金融機関等名、部署名、担当者の氏名、電話番号および電子メールアドレスを記載のうえ、その旨を後掲の連絡先宛てに電子メールによりご連絡下さい。電子メールのタイトルは「金融市場調節取引の資格抹消の件（金融機関等名）」として下さい。

—— 既存先であって、上記の電子メールによる連絡を行わなかった先については、応募があったものとみなし、選定を行います。

(連絡先) 日本銀行 金融市場局
市場調節課 オペレーション企画グループ
TEL : 03-3277-1277、03-3277-1272
E-mail : post.fmd26@boj.or.jp
住所 : 〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町 2-1-1

(2) 応募に関する留意事項

- 今回選定した対象先が、合併、事業譲渡または会社分割による事業の承継を行う場合において、合併後の存続会社、譲受会社または承継先（以下「新会社」といいます。）に対象先としての資格を移管することを希望するときは、新会社が、国債売買オペの対象先もしくは国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの対象先であること、または国債売買オペの対象先もしくは国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの対象先としての資格の移管を受けることを承認されていること等を確認のうえ、次のとおり取扱います。
 - ① 対象先が、合併、事業（対象先が外国銀行または外国法人である金融商品取引業者である場合には、日本における事業をいいます。以下同じです。）の全部譲渡または会社分割による事業の全部承継を行う場合には、特段の問題がない限り、新会社に対象先としての資格を移管することを承認します。
 - ② 対象先が、事業の一部譲渡または会社分割による事業の一部承継を行う場合において、国債補完供給に関する事業がその対象となるときは、その内容に様々な態様が考えられるため、一部譲渡または一部承継の内容を確認したうえで、新会社に対象先としての資格を移管することを承認するか否かを判断します。

- また、対象先が合併により非存続会社となる場合、事業譲渡において譲渡会社となる場合または会社分割において分割会社となる場合には、当該対象先との国債補完供給について、日本銀行および当該対象先における実務上のフィージビリティを確認する必要があります。また、確認の結果、オファーを見送ることがありますので、予めご承知おき下さい。

- 上記の場合を含め、対象先として選定した先が合併、事業譲渡または会社分割による事業の承継を行う場合には、日本銀行金融市場局市場調節課オペレーション企画グループに前広にご連絡下さい。

4. 選定方法

- 国債売買オペまたは国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの2020年度対象先公募において、国債売買オペまたは国庫短期証券売買オペ・国債現先オペの対象先として選定した先であって、かつ、1. の役割の遵守を確約しているすべての応募先（申請書を提出した新規先および本年度も対象先となることを希望した既存先をいいます。以下同じです。）を対象先として選定します。

5. その他

（1）約定書等の貸与

- 国債補完供給に関する約定書等の借覧を希望される場合には、2020年7月15日から8月31日午後3時までの間、貸与します。貸与の手続等は、日本銀行金融市場局市場調節課オペレーション企画グループにご照会下さい。

（2）対象先の選定結果の通知および公表

- 対象先の選定結果は応募先に個別に通知します（原則として、新たに対象先となることを希望した先には申請書にご記入頂いた連絡先の第1順位の方に通知します。既存先には日本銀行金融市場オンラインにより通知します。）。また、対象先として選定した先は公表します。

<日本銀行金融市場オンラインを利用していない皆様へ>

国債補完供給の対象先となった場合には、日本銀行金融市場オンラインを利用しただく予定ですが、日本銀行金融市場オンラインの導入準備には一定の期間を要しますので、日本銀行金融市場局までお早めにご連絡いただくようお願い致します。

以 上

金融市場調節取引の対象先選定に係る申請書（2020年度）

1. 当方は、公募開始日現在において対象先でない金融市場調節取引のうち、下表の取引の対象先となることを希望します。

—— 公募開始日現在において対象先である金融市場調節取引については、記載不要です。

- ※・希望する金融市場調節取引の右欄に○を記入。
 ・共通担保オペ（全店貸付）の対象先となることを希望する場合は、加えて、希望する貸付店、取引店舗を記入。

金融市場調節取引の種類	希望記入欄
共通担保オペ（全店貸付）	・貸付店：日本銀行_____ ・取引店舗： 当方_____
共通担保オペ（本店貸付）	
国債売買オペ	
国庫短期証券売買オペ・ 国債現先オペ	
国債補完供給	
CP等買現先オペ	
手形売出オペ	

（金融機関等名、金融機関等コード・4桁）

2. 当方は、以下の諸点を確約します。

- (1) 当方は、希望する金融市場調節取引の対象先に選定された場合には、選定された金融市場調節取引について、各金融市場調節取引の対象先選定基準・手続に掲げる役割を遵守します。
- (2) 当方は、希望する金融市場調節取引について、各金融市場調節取引の対象先選定基準・手続に掲げる必須基準を満たしています。
- (3) 当方は、日本銀行が必要と認める場合には、各金融市場調節取引の対象先選定に係る各流通市場における取引高、取引平均残高、取引先数、レート情報の提供内容もしくは売出手形等保有平均残高等の計数等または当該計数等を確認できる資料を速やかに提出します。
- (4) 当方は、日本銀行が必要と認める場合には、自己資本比率、その算出根拠資料その他の日本銀行が必要とする資料を速やかに提出します。

年 月 日 (注1)

(金融機関等コード・4桁) _____
(金融機関等名) (注2)
(役職名・代表者)

(注3) 印 (注4)

日本銀行金融市場局長 殿

- (注1) 申請書の提出日を記載して下さい。この記載がない場合には、日本銀行の受付印の日付を提出日とみなします。
- (注2) 日本銀行との当座預金取引において業務局または支店に届出済の印鑑届における金融機関等名を記載して下さい。また、外国銀行および外国法人である金融商品取引業者の場合には、届出済の和文呼称を使用して下さい。
- (注3) 頭取、社長、理事長等が記名なつ印または署名して下さい。
- (注4) 代表者欄への支店長等の代理人名の記載は不可。印章は、日本銀行との当座預金取引において業務局または支店に届出済の代表者の印鑑届に押なつしているもの(署名鑑届出者については届出済の署名)を使用して下さい。

■ 金融市場調節取引の対象先選定に係る申請書および選定結果の通知^(注)に関する連絡先（優先順位を付けて2名まで記入して下さい。）

(注) 既存先には、日本銀行金融市場オンラインにより通知します。

	第1順位	第2順位
部署・役職		
氏名		
電話番号		
ファクシミリ番号		
E-mailアドレス		
住所：〒		

■ CP等買現先オペにおいて短期社債等の振替を行うための口座の開設状況

※CP等買現先オペの対象先となることを希望する先（1.においてCP等買現先オペの右欄に○を記入した先）のみ、該当する区分にチェック☑を記入。

1. 株式会社証券保管振替機構に短期社債等の振替を行うための口座を開設している「機構加入者」です。
2. 1.には該当しませんが、口座管理機関に短期社債等の振替を行うための口座を開設しています。口座を開設している口座管理機関は、_____です。
3. 1. および2. のいずれにも該当しません。

(金融機関等名)

--